

ほけんだよ

1月



本校ホームページにカラーで掲載中！

埼玉大学教育学部
附属特別支援学校
保健室
R5.1.18

こころとからだの学習の
「体の部位の名称と働き」について、
「数の学び」と合わせて取り組んでいます！

1月のお話と体操をおこないました。

まず、いつものように前の月の振り返りです。

私たちの体とその動きをしっかりと支えてくれているのは、骨。12月は骨の働きと背中の骨をさわる体操をしました。



そして、1月…

私たちの体の中の1つあるところのお話です。

まずは、児童生徒のみなさんから思いついたところを発表してもらい、「あたま」「はな」が発表されました。

そして、その文字を模造紙に大きく書いて、その文字と、その部位を使って、体文字体操をしました。



体文字体操は、こんな歌に合わせておこないます。

「からだもじたいそう はじめるよ
あたま という字を かいてみよう
あたまで かいてみよう
(はい) あ た ま (←先生がやって見せる)
(どうぞ) あ た ま(←児童生徒が真似してやる)」

それから、「くち」や「おしり」という発表もありました。

「くち」や「おしり」は、プライベートゾーンという別の名前も持っていて、「水着で隠れるところ」と「くち」であることを説明しました。

そして、「ぶらいべーとぞーん」と模造紙に書いて、この字は、「まもるポーズ」で書きました。

まもるポーズは、×に似ているけれど、×ではなく、右

と左の腕の間が空いていて、さわっていないことを表すポーズです。プライベートゾーンは、人の前ではさわらない、人のプライベートゾーンは、勝手にさわらないという約束があるので、そのことを覚えたり、思い出したりするポーズでもあります。

ちょっと長い文字で大変でしたが、○や点々だけでも書いてみよう！と声をかけて挑戦しました。



最後は、「いのち」という字を模造紙に書いて、体全部を使って書きました。「いのち」は、からだの部位ではあり

ませんが、手足が動いたり(4月の話)、指が動いたり(5月の話)、目が動いたり(6月の話)、首が動いたり(7月の話)、(歯が生え変わったり(10月の話)…を言い忘れてしまいました！)、脳や内臓が働いたり(9月・11月の話)、骨(12月の話)がしっかりと見えないところで私たちを支えてくれているので、そこに「いのち」があることがわかります。そして「いのち」は一人に一つずつです。

発育測定の日、火事を想定した避難訓練がありました。副校長先生から、本校在学中に火事で命がなくなってしまったお友達のお話を聞きました。生きていれば、現在は30代半ば頃です。前の日に「いのち」という字を体全部で書いた体験と、避難した体験の後の命のお話が児童生徒の心の中で混ざり合い、いのちを大切にする行動の助けになるとよいなと思いました。

そして、その次の日、高校生が保健室に何かお手伝いはありませんかと尋ねて来てくれました。星形に切った紙に「いのち」と書いてもらい、発育測定前のお話の振り返りの場となっている保健室前の掲示板に貼ってもらいました。

「いのちについて学んだよ」というメッセージが天まで届きますように。

